

開催趣旨

近年の為替と穀物等の国際相場の変動によって、輸入飼料依存が高いわが国の畜産農家においてはその経営を不安定にする要因が増大している。このような状況下では、飼料作物新品種や新たな栽培利用法を活用して低コストで自給飼料を増産することによって飼料自給率を向上させることが安定経営のために重要である。そこで、本年度の自給飼料利用研究会では、農研機構や都道府県等の公的機関で開発された、既存の飼料畑や水田を最大限に活用して効率的に自給飼料を増産するための新技術などを紹介し、知識の向上と普及を図る。

主 催

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門

日 時

平成28年12月5日（月） 10：30～17：00

平成28年12月6日（火） 9：00～11：45

場 所

滝野川会館（東京都北区西ヶ原 1-23-3）

参集範囲

農林水産省、独立行政法人、国立研究開発法人、都道府県、大学、団体、民間等の関係者

次 第

第1日目 12月5日(月)

開 会 10:30

挨拶 10:30-10:40
農研機構 畜産研究部門長 島田和宏

基調講演 (座長：農研機構 畜産研究部門 畜産飼料作研究監 大同久明)
飼料自給率向上の課題と展望 10:40-11:20
酪農学園大学 荒木和秋

行政報告 (座長：農研機構 畜産研究部門 畜産飼料作研究監 大同久明)
行政としての自給飼料生産支援施策について 11:20-12:00
農林水産省生産局畜産部飼料課 太鼓矢修一

昼食休憩 12:00-13:00

研究・技術・事例紹介 (座長：農研機構 畜産研究部門 飼養管理技術研究領域長 鈴木一好)
高消化性スーダン型ソルガム「涼風」の栽培と収穫・調製法 13:00-13:40
長野県畜産試験場 浅井貴之

寒冷地における二毛作とイタリアンライグラス新品種「クワトロ TK-5」 13:40-14:20
農研機構 東北農業研究センター 久保田明人

暖地・温暖地の作付体系と多毛作への取り組み 14:20-15:00
農研機構 九州沖縄農業研究センター 加藤直樹

休憩 15:00-15:20

不耕起対応トウモロコシ高速播種機の改良と現地試験事例 15:20-16:00
農研機構 農業技術革新工学研究センター 松尾守展

総合討議 (座長：農研機構 畜産研究部門 飼料連携調整役 上山泰史)
16:00-17:00

第2日目 12月6日(火)

研究・技術・事例紹介 (座長：農研機構 畜産研究部門 飼料調製ユニット長 野中和久)

最近の飼料作物の栄養評価に関する研究の動向 9:00- 9:40

農研機構 畜産研究部門 永西 修

高糖分 WCS 用稲品種向け添加剤「畜草2号」の開発 9:40-10:10

農研機構 畜産研究部門 遠野雅徳

休憩 10:10-10:25

「畜草2号」の添加効果と今後の展望 10:25-11:05

広島県立総合技術研究所畜産技術センター 河野幸雄

「高糖分 WCS 用稲品種を活用した微細断収穫・調製体系」 11:05-11:45

農研機構 西日本農業研究センター 高橋仁康

閉会